

スマートシティの実装～羽田イノベーションシティ

(実施期間：2020年度～)

技術テーマ区分番号：⑳

主な実施場所：東京都大田区

取組活動の内容

事業目的・概要

- 本件は、大田区が推進する羽田空港跡地第1ゾーン整備事業の第一期事業であり、区域面積は約5.9ヘクタールである。「新産業創造・発信拠点」を形成するとともに、地域経済の活性化や我が国の国際競争力強化への貢献等、同地域の魅力向上を通じた大田区ならではの地方創生を実現していくことを目指し、大田区並びに2016年に事業公募で選定された「羽田みらい開発株式会社※」が官民連携事業として実施する。対象区域は「国家戦略特区」、「民間都市再生事業計画」、「クールジャパン発信拠点」等に位置づけられている。 ※ 代表企業（鹿島建設）ほか民間企業8社が出資
- 施設名称は「羽田イノベーションシティ（Haneda Innovation City）」であり、「先端産業」と「文化産業」の2テーマのもと、研究開発施設（ラボ・大規模オフィス）、先端医療研究センター、イベントホール（Zepp）、研究・研修滞在施設（コングレ、京急EXイン）、先端モビリティセンター（DENSO）および水素ステーション等で構成される。施設規模は、延床面積13万平方メートルを超える大規模複合施設であり、2022年度の年間延べ来街者数は約298万人に達し、今後も増加させるべく運営が続けられる。2023年11月にグランドオープン。
- 大田区全体の課題の解決に向け、先進的技術の実証・実装を行うテストベッドとしての役割を想定しており、大田区への施策展開の可能性も視野に入れている。また、空間情報データ連携基盤や先進的技術の導入について、羽田空港などの近接する都市や地域との広域連携を可能にすることを旨とする。
- 将来的に全国でスマートシティ化を推進する際のモデルケースとなることも想定し、継続的なテストベッド機能の運営を推進する。

連携実施者

- 羽田第1ゾーンスマートシティ推進協議会
- 大田区（地方公共団体）
- 羽田みらい開発株式会社（民間事業者等）

関連外部リンク先

- 羽田イノベーションシティ [<https://haneda-innovation-city.com/>]
- 国交省 [https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi07_hh_000159.html]

イメージ図

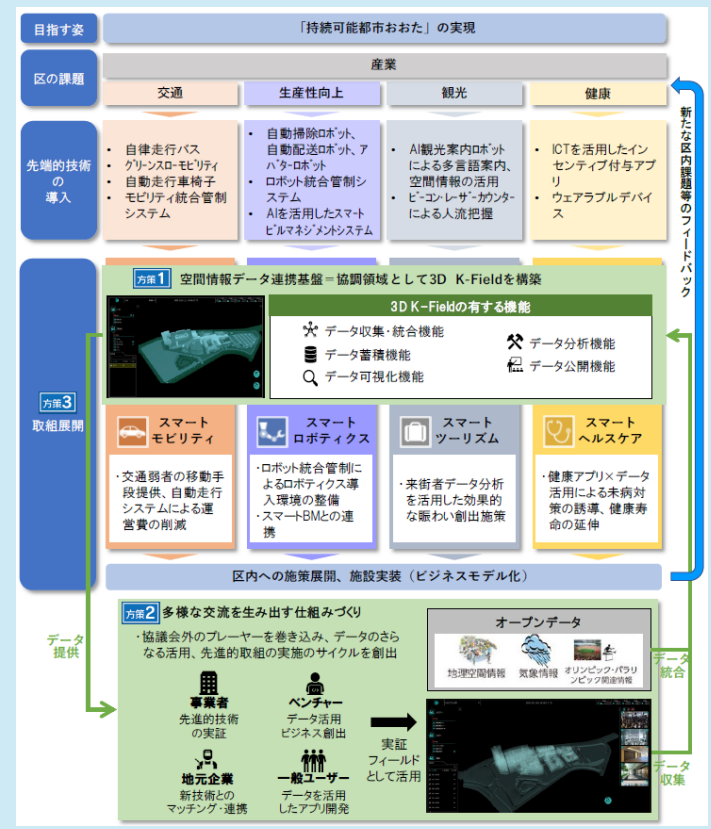


図1：羽田イノベーションシティにおける先進的技術導入のテストベッドの概要

公的資金の活用状況（提供元、資金名、活用期間、スキーム等）

- 国交省（スマートシティ実装化支援事業）